



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



# E・N・S通信

No.24



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

Saitama Center for Climate Change Actions



## Index

- 表紙寄稿：米山 昌幸氏  
(獨協大学経済学部国際環境経済学科長)
- 活動報告
- 会員活動報告
- COOL CHOICE コーナー
- 事務局からのお知らせ



## 持続可能な社会を創る仕掛け“Earth Week Dokkyo” 獨協大学経済学部国際環境経済学科長 米山 昌幸

本学では、国際環境経済学科が主体となって、キャンパス全体として省エネや環境保全のみならず、環境や開発の問題と向き合って持続可能な社会を創るという機運を高めていくために、2016年度から獨協大学環境週間“Earth Week Dokkyo”を開催している。2017年度、同実行委員会のメンバーが考えた4企画、「日本の伝統文化で『涼』を感じよう!!!」、「街中に広げよう!ゴーヤによる緑のカーテン」、「旬の野菜カレンダーで省エネ・省CO2に貢献しよう!」、「エッグキャンドルナイト」が、埼玉県の「大学連携普及啓発活性化事業(省エネ・省CO2PR事業)」に採択された。

夏には「打ち水打ち隊」を結成し、「草加よさこいサンバフェスティバル」では浴衣を着て打ち水をしたり、緑のカーテンを普及させるためにゴーヤの苗を学内で配布し、収穫祭ではゴーヤカレーを作って子供たちに振る舞った。また、冬には「電気を消して、豊かな時間を!」をスローガンに節電を促すエッグキャンドルナイトを実施。そして、草加市内の旬の野菜を知ってもらい、旬の野菜で地産地消を進めてフード・マイルージを減らすために旬の野菜カレンダーを制作した。

4企画はそれぞれ地球温暖化の緩和策、適応策としての効果をもつが、何よりも次世代を担う学生が、自分事として自ら考え、工夫して地球温暖化に取り組む姿勢こそが、持続可能な社会を創っていくことにつながると期待している。



伝右川沿いの河津桜を背に



## 事業所の省エネを推進しました

平成23年度から始めている埼玉県が実施する省エネナビゲーター事業の事務局として、今年度67件の中小事業所の省エネ診断を支援しました。さらに、今年度から始まった経産省の補助事業である「埼玉県省エネ促進プラットフォーム」では、中小事業所20件の省エネ支援を行いました。

作成したパンフレット▶



今年度は初年度ということもあり、まず事業を知っていただくのが重要と考え、パンフレットの作成やセミナーの開催、展示会に出展したりとあらゆる広報を行いました。その結果、順調な支援を行うことができ、支援先からは大変好評を得ることができました。ただ、まだ相談対応レベルでの支援が多く、今後さらに資金計画や運用改善、設備導入などの具体的な支援に入りたいと考えています。

## 第8回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉を開催しました

12月2日(土)、第8回目を迎える今回は獨協大学の協力を得て同大学にて開催しました。参議院議員 中川雅治環境大臣の御来賓挨拶もあり、過去最高となる延べ493人の参加を得ることができました。



分科会の様子

また関東ブロック地域センター共同企画で作成した「COOL CHOICE TEAM-KANTO 地域デスク」の看板で来場者へCOOL CHOICEのPRを行い、中川環境大臣にもご協力いただきました。



基調講演の様子

年々広がっていく本フォーラムへの関心の高さを実感するとともに、参加者の熱い思いを感じることができました。今回はSDGsをテーマとした事業者向けや学生主体の分科会もあり、幅広い世代が一堂に会する貴重な機会となりました。



COOL CHOICE PRの様子

## 推進員とともに

埼玉県地球温暖化防止センターとして活動を推進していく上で、埼玉県地球温暖化防止活動推進員(推進員)との連携はとても重要であり、欠かせないものです。今年度は埼玉県主催の推進員研修会を、トータルで4回開催しました。夏は座学形式で最新情報による専門的な知識の習得でしたが、後半11月には、「地域におけるESDと伝え方を学ぶ」というテーマで、ワークショップ形式で開催しました。ワークショップでは、埼玉大学の学生の参加もあり、推進員と若い学生との意見交換をとおして伝え方のポイントを学習してもらいました。来年度は新たに推進員委嘱の年になります。そのため委嘱予定の推進員研修会を1月に開催し、地域での活動デビューの方法について参加者と一緒に考えました。



## 森のGood Jobプロジェクト報告



「都市と森をつなぐ森林保全のための基盤整備事業」を3年間、秩父市吉田の山逢の里キャンプ場とその周辺をプロジェクトサイトと位置づけ、エコツーリズムや森の環境教育等を行ってきましたが、今年度最終年を迎えました。

まず、地域の担い手づくりが重要と考え、「山あいの里ファンクラブ楽校」を連続4回講座で開催しました。講座は大変好評で、4回とおして10人以上が参加してくださり、その方々を中心に活動団体ことができました。

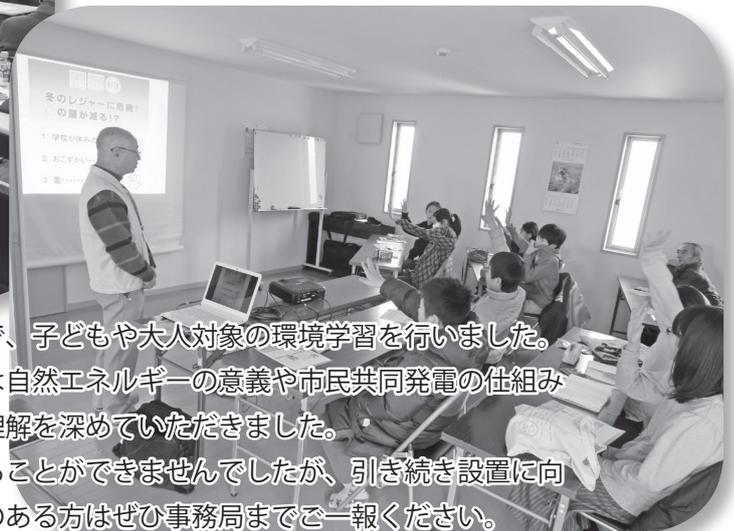
今年度も毎年恒例の「森のGood Job体験学習会」を11月に2回開催しました。今回は参加者に現地集合としてもらいましたが、リピータを含めさいたま市周辺から多くの方に参加いただきました。間伐材の伐採体験やクルミの木の植樹、山のツタや木の実を使ったリース作りなど森でしかできない体験や、さらに、獣害問題についてもジビエ料理を食べながら知ってもらいました。お目さまにも恵まれ、秋の楽しい一日となりました。

この体験学習会は今後も継続して開催予定ですが、地元の方々が開催する体験教室も準備中です。ぜひFaceBook「山あいの里ファンクラブの会」をご覧ください。

## 埼玉お日さまクラブ活動報告



1月13日大宮にて埼玉自然エネルギーフォーラムを開催しました。県内外から約50名の参加があり、市民電力やFIT法改正、家庭用の太陽光発電2019年問題など再生可能エネルギーを取り巻く最新のトピックスについて学習しました。加えて、参加者同士の意見交換により交流や情報交換を行うなど、アンケート結果からも大変満足度の高いフォーラムとなりました。



一方、これまで設置した幼稚園、保育園、自治会館で、子どもや大人対象の環境学習を行いました。子どもにはクイズやエコ工作などを取り入れ、大人には自然エネルギーの意義や市民共同発電の仕組みについて説明をすることで、再生可能エネルギーへの理解を深めていただきました。

なお、今年度は残念ながら市民共同発電所を設置することができませんでしたが、引き続き設置に向けて場所探し等をしていきたいと思っています。関心のある方はぜひ事務局までご一報ください。

## うちエコ診断を実施しました

今年度も「首都圏ネットうちエコ診断実施事務局」として、うちエコ診断を実施しました。コープみらい、パルシステム埼玉の組合員やさいたま市在住・在勤の方を対象に、合わせて73件の診断を実施しました。「目に見える形の診断で分かりやすかった」「省エネを意識する上で良い取組だと思う」といった声がありました。

環境ネットワーク埼玉では、うちエコ診断を家庭のCO2削減のために重要なツールのひとつと考え、次年度も継続して取り組んでいきます。



# COOL CHOICEコーナー



## [ イベント結果報告 ]

今年度、“COOL CHOICE”を広めるため、県内各地域でCOOL CHOICEに関する啓発を展開しました。

Act Green Eco Week（越谷市）では越谷市及びイオンリテール株式会社と協力し、省エネで冬を暖かく過ごす工夫紹介とグッズを展示、地産地消の紹介も兼ねて地元産お米の試食会なども行い「衣・食・住」をテーマにCOOL CHOICEを啓発しました。

親子の参加には、当団体作成の「貼って学べる省エネキット」の体験、さらに学んだことをもとにMY COOL CHOICE宣言をしてもらうなど、大変賑わいのある参加型のイベントとなりました。



冬のあったかCOOL CHOICE



貼って学べる省エネ体験



MY COOL CHOICE宣言

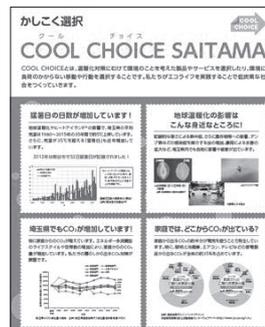
そのほか、手回し発電による電球比較実験やパネル展示、ワークショップなどを行い、多くの来場者の方々に地球温暖化と家庭の省エネについて学んでいただきました。



それいけ！クールチョイス大作戦出展（秩父市）



COOL CHOICE ミニブック（当団体作成）による賛同の様子



作成したCOOL CHOICE SAITAMAパネル



## [ COOL CHOICE賛同者数 ]

年度	個人	団体
平成 28 年度	807 人	9,659 人 (16 団体)
平成 29 年度	893 人	16,969 人 (14 団体)
合計	28,328 人	

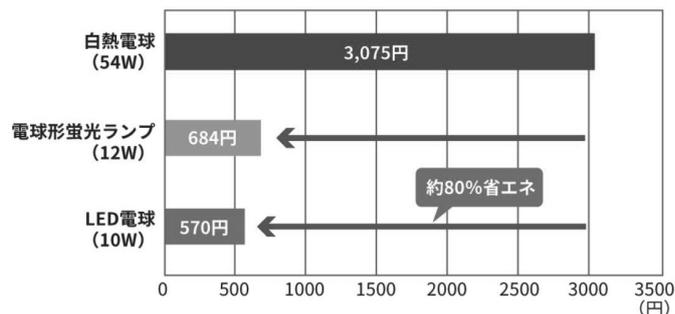
※当団体回収分



## [ COOL CHOICE LED照明のすすめ ]

家庭で使用する電気の割合は冷蔵庫に次いで照明によるものが大きく、全体の13.4%を占めています。照明は大型の家電製品の買い替えに比べ、比較的安価で手軽に出来る省エネ対策です。特に照明はLEDがおすすめです。従来の白熱電球より導入コストは高めですが、省エネ・長寿命のLED電球は買い替えから約9ヶ月でコストが逆転し、節約にもつながります。

参考：資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド」  
\*国は2012年までに白熱電球の生産を中止するよう要請しています。



ランプ寿命

白熱電球	1000時間
電球形蛍光灯	6000時間
LED電球	40000時間

出典：東京電力エナジーパートナー HP より  
(<http://www.tepco.co.jp/ep/private/savingenergy/living02.html>)

### LED電球導入時のご注意

#### ① 口金のサイズを確認

今まで使っていた電球と同じ口金サイズを選びましょう。

例：「E26」・・・26mm、「E17」・・・17mm

#### ② 明るさを確認

LED電球の明るさは「ルーメン (lm)」で表示されます。交換の場合は、ほぼ同じ明るさが得られるものを選びましょう。

#### ③ 設置箇所に対応したLED電球を選ぶ

##### ダウンライト

反射板等にSマークが付いていたら



ダウンライトのこの辺に付いています

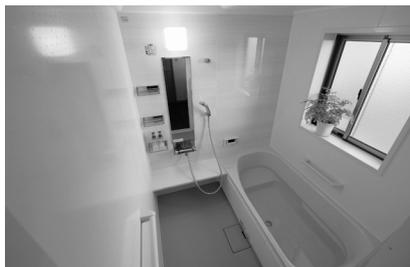
これがSマークです



断熱材施行器具対応のランプを選びましょう。

##### 浴室・玄関

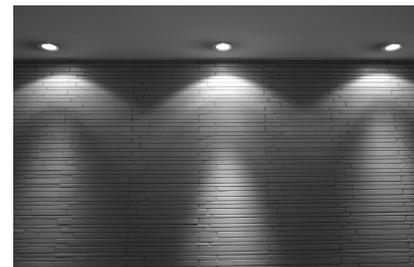
ランプがカバーですべて覆われていたら



密閉形器具対応のランプを選びましょう。

##### シャンデリア・スポット等

調光機能が付いていたら



調光器対応のランプを選びましょう。

\*対応していないランプの使用は、短寿命や故障の原因となります。

出典：一般社団法人日本照明工業会、一般財団法人家電製品協会

## [ パリクラブ21埼玉「SDGsから環境経営を推進！」 ]

事業者向けに持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向け、第8回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉にて「環境経営の今・これから分科会」を開催するとともに、埼玉GPN10周年記念事業にて特別セミナー「2030年を見すえた環境を取り巻くビジネスの動向～SDGsから企業価値向上を目指して～」を共催し、先進的に事業展開している企業の取組をご紹介します。



## ● 事務局からのお知らせ

### 寄付金をいただきました

年度末に、久光製薬株式会社様とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の2社から寄付をいただきました。両社は企業のCSRとして地域で社会貢献活動している多くの団体に寄付をされているとのことで、今年度は当団体にいただきました。

我々の活動に注目していただき、寄付という形で支援をいただけたのはこれからの活動の励みとなります。心より感謝し、有効に使わせていただきます。他にも、イオン幸せの黄色いシート様からも毎年寄付をいただいています。寄付の詳細はホームページをご参照ください。



久光製薬株式会社贈呈式の様子

### 平成30年度 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉通常総会のお知らせ

日時	2018年6月24日(日) 13:30～16:00
会場	埼玉会館 7A会議室
内容	①講演会 (13:30～14:30) ②通常総会 (15:00～16:30)

\*詳細は後日お知らせいたします。なお、講演会はどなたでも御参加いただけます。

## ★会員募集★

活動を支援してくださる会員を募集しています！  
詳しくは事務局までお問合せください。

	個人	団体(非営利)	団体(企業)
正会員	5,000円	5,000円	50,000円
賛助会員	3,000円	3,000円	10,000円

\*会費は年会費です(年度更新)。

\*正会員は社員として議決権が付与されます。

\*個人の賛助会費及び寄付は、税の優遇対象です。

### ■表紙の写真より■



千葉県野田市で放鳥されたコウノトリ「きずなみ」。  
平成29年11月新潟市の佐潟にて。

## 編集・発行

発行日 2018年3月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218

<http://www.kannet-sai.org/index.html>

閉館日: 土・日、祝日 開館時間: 9時～17時

情報やお知らせ等、是非お寄せください。

